

しん ねん せい ほ ご しゃ
新 1 年生と保護者のみなさまへ

にゅう がく じゅん び
～入学までに準備しよう～

もっすぐ^{ねん せい}1年生



草加市では、お子さんが安心して小学校へ入学し、希望やあこがれをもって楽しく生活
することができるように、ご家庭で取り組んでいただきたいことをこのリーフレットに
まとめました。

「生活する」「人とかわる」「自ら学ぶ」の3つの力をバランスよく伸ばしていけるよう、
楽しみながら取り組んでみましょう。

そう か し
草 加 市

生活する

できるように
なったかな？

はやねはやお
早寝早起きをしましょう。



- 夜9時までは寝させ、朝6時30分までには起きるようにさせ、規則正しい生活リズムを身に付けさせましょう。
- 保護者が手本となり、家族全員で早寝早起きをしましょう。
- 十分な睡眠をとることで、落ち着いて学校生活を送ることができるようになります。

できるように
なったかな？

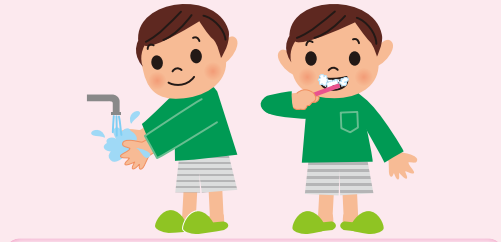
あさ
朝ごはんをしっかり
食べて、トイレも
すませましょう。



- 必ず朝ごはんを食べ、トイレを済ませられるように声を掛けましょう。
- 朝ごはんにより、脳と腸の動きがよくなります。朝のトイレにより1日の体調がすっきりし、元気に過ごすための力が高まります。

できるように
なったかな？

てあら
手洗い、うがい、
はみがきをしましょう。



- 手洗い、うがいの習慣を身に付けさせましょう。
- 食後に歯みがきをさせ、保護者が仕上げ磨きをしましょう。むし歯は、入学前に治療しましょう。
- 大人の歯に生え変わる前に歯みがきの習慣を身に付けさせることも大切です。

できるように
なったかな？

す
好ききらいをしないで
食べましょう。



- 栄養のバランスがよい食事をとらせましょう。
- 苦手な食べ物に少しずつ挑戦させましょう。
- 好ききらいをなくすことでいろいろな栄養をとることができ、健康な体のもととなります。また、多くの食文化に触れることにもつながります。

できるように
なったかな？

おやこ
親子で通学路を歩いて
交通ルールを覚えま
しょう。



- 行きは登校班、帰りは同じ学年の友達との下校が中心となります。大人が手本となって交通ルールを教えましょう。
- 「こどもひなんじょ」や、危険な場所を確認しながら、親子で通学路を歩いてみましょう。いざというときに自分で命を守る力が育ちます。

人とかがわる

できるように
なったかな？

あいさつや返事を
しっかりしましょう。



- 元よく「はい」と返事をさせましょう。
- 先生や友達に「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言えるようにさせましょう。
- あいさつはより良い人間関係を築くために欠かせない習慣です。

できるように
なったかな？

きまりや約束を
まも
守りましょう。



- 人に迷惑をかけない、危ないことをしないなど、社会や家庭のルールを教えましょう。
- よいことをした時にはほめて、してはいけないことをした時には、理由を分かりやすく説明しましょう。

できるように
なったかな？

ともだち
友達とたくさん
遊びましょう。



- 多くの友達と関わり、たくさん遊ばせましょう。
- 友達と遊ぶ中で、自分と人では考え方が違うことに気づき、相手の気持ちや人との関わり方が分かるようになります。
- 少しずつ自分の気持ちを抑えられるようになって、自分がされて嫌なことは他の人にしなくなります。

できるように
なったかな？

家族で食事をしたり、
一緒に過ごしたり
しましょう。



- 家族での食事や心身のふれあいを通して人に対する愛情が育まれ安心感や信頼感を築く基盤ができます。
- 一緒に過ごす中で、子どもとたくさん会話をしましょう。「そうだったの」「それから？」と目を見てうなずきながら終わりまで話を聞いてあげましょう。

できるように
なったかな？

地域とのつながりを
大切にしましょう。



- 親子で町会の行事に参加したり、公園や図書館などの公共施設を利用したりしましょう。
- 地域の人たちと関わったりまちのようすを知ったりする中で、自分の住んでいる地域に関心をもてるようにしましょう。

自ら学ぶ

できるように
なったかな？

いろいろな遊びや体験
をしましょう。



- 体を動かして遊ぶ、描いたり作ったりして遊ぶ、歌を歌ったり踊ったりするなど、いろいろな遊びや体験をさせましょう。
- いろいろな遊びを満足いくまでさせることが、充実した小学校生活を送るために必要な力のもととなります。

できるように
なったかな？

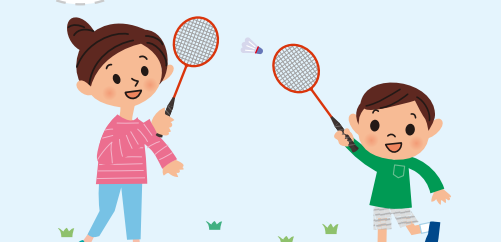
身近な自然に
ふれましょう。



- 草花や小動物を家族で育てたり、砂や泥で遊ばせたりしましょう。
- 身近な自然に触れることで美しさや不思議さ、四季を感じて、もっと知りたいという気持ちが育ちます。生命の大切さの気づきや、思いやりの気持ちも育ちます。

できるように
なったかな？

家族で一緒に
遊びましょう。



- 子どものやりたいという気持ちを大切にしながら、一緒に思い切り体を動かしたり、考えたりしながら遊びましょう。
- 「ほめる」ことを心がけ、認め、励ましましょう。自分のことが好きになり、自分からやろうとする気持ちと自信が育ちます。

できるように
なったかな？

親子でたくさんの本を
見たり読んだりしま
しょう。



- 子どもが本にしやすい環境を整え、好きな本を読ませたり、読み聞かせをしたりして、いろいろな本にふれさせましょう。
- 読書や読み聞かせによってわかる言葉が増え、文字に対して読みたい・書きたいという気持ちが高まります。

できるように
なったかな？

夢をもちましょう。



- 将来の夢やできるようになりたいこと、分かるようになりたいことについて親子で話しましょう。
- 夢や希望をもつことは、学ぶ意欲につながります。子どものどんな夢や希望でも、耳を傾け、励まし、温かく見守りましょう。

できるようになったら にシールを貼りましょう。

保護者の方へ

※シールを貼る基準はお子さんの様子に合わせてご家庭で決めてください。
※無理なく楽しみながら取り組めるめあてをお子さんと相談しながら決めてください。

心豊かに充実した小学校教育生活

リーフレット活用のポイント

- 子どもの育ちは一人ひとり違います。長い目で見守りましょう。
- 全ての項目を達成させることが目的ではなく、よさを認めて伸ばしましょう。
- 頑張ったことをたくさん認めることで、入学を楽しみにする気持ちを高めましょう。
- 家庭の温かな見守りのもと、たくさんの遊びから多くの経験をさせましょう。

リーフレットの活用例

- 壁に貼るなどして、親子で一緒に取り組み、ゆとりをもって入学までの準備をする。
- お子さんと、めあてを決めて、一緒に取り組む。
- できるようになったときには、シールを貼ってお子さんと一緒に喜び合う。
- お子さんが頑張ろうとしていることを認め、励まし、見守る。



自己肯定感…自分のよさや可能性に気づき、自分らしさを大切にすることができる

自己有用感…自分が他の人に役立っている、必要とされていると実感することができる

他者理解…他の人のよさを認め、大切にすることができる

家庭は、子どもが最も安心して過ごすことができる場所です。どんな時でも愛されている、どんな時でも守られていると子どもが感じることができる家庭にしましょう。家庭における愛情や信頼感が、「生活する」「人とかわる」「自ら学ぶ」の3つの力をバランスよく育む土台となり、子どもたちの自己肯定感・自己有用感を育み、他者理解を大切にしていきます。

※草加市教育委員会がまとめた家庭教育の支援に関する情報を右の二次元コードからご覧いただけます。

発行：草加市子ども教育連絡協議会

事務局：草加市教育委員会子ども教育連携推進室

